明野高校同窓会新聞

明野ヶ原通信

59号

題字：元明野高校教諭　工藤俊朴氏

発　行／令和７年（2025）３月１日
発行所／明野高校同窓会
伊勢市小俣町明野 1481
編　集／新聞発行委員会
（株）アイブレーン

福祉科

イオンタウン伊勢ララパーク、ゲンココルームにて

地域行事、おばたまつりに参加

マイスターハイスクール活動、高齢者スマホ教室の打合せ

福祉科では、校外実習や地域行事やボランティアへの参加を精力的に行っています。伊勢市社会福協議会様に依頼を受け高齢者体験の講師を福祉科の生徒が務めました。（写真左）高齢化した際の心身機能の変化や耳の聞こえ方など、日頃の学びを参加者の小中高生に分かりやすく丁寧に伝えることができました。

おばたまつりでは、お神輿盛り上げ隊として参加しました。（写真右上）猛暑を吹き飛ばすために、水鉄砲を持参しての参加となりました。生徒会、さまざまな科の生徒と参加し地域との繋がりを持ちました。今年度から文科省指定事業のマイスターハイスクールに採択され居場所づくりをテーマに３年生がゼミ活動を行っています。高齢者・障がい・児童の分野に分かれ企業・地域との連携を目指しています。

１２月に行われた高齢者スマホ教室の事前打ち合わせでは、明和町社会福祉協議会さんとともに、生徒が主体となって課題解決に取り組みました。（写真右下）このスマホ教室は、世代を超えた交流と学びの場となり、高校生たちにとっても貴重な経験となりました。今後もこうした活動を続けていきたいと思います。

目次／ごあいさつ　谷口佐富同窓会会長・橋本 昌幸学校長…2／同窓の広場…3／地域連携の取り組み…4／クラブ紹介…5／明高短信…6／
賛助金ご協力の方々…7／令和７年総会のご案内…8

ごあいさつ

止まらない温暖化

同窓会会長
谷口 佐富

同窓会の皆様におかれましては、お元気にお過ごしのこととお慶び申し上げますとともに、同窓会活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

さて、昨年、一昨年と大変暑い夏を過ごしたわけですが、特に昨年（令和６年）の夏は大雨による洪水の発生や各地で猛暑日の日数が最高記録を示すなど、近年は温暖化による影響が加速度的に進行しているのを感じているところであります。私も地域の担い手として稲作経営に取り組んでいますが、数年前から高温によって米粒が白濁する「白未熟粒」の増加で品質低下に困っています。

ご承知のように、私たちの生活や自然環境に大きな影響を及ぼす地球温暖化は産業活動や化石燃料の燃焼、森林破壊などによって大気中に放出される二酸化炭素（CO_2）やメタンなどの温室効果ガスの濃度が過剰に増加することによって進行するといわれています。

温暖化の進行により、北極や南極の氷が溶けることによる海面上昇や異常気象の頻発が懸念され、台風や豪雨、干ばつなどの自然災害の増加により、農作物の生産に影響し、食糧不足を引き起こす可能性があると言われています。さらに、生態系へも大きな影響があり、動植物の生息域が変わってきています。

温暖化を止めることはできませんが、進行を抑制する対策として再生可能エネルギーの利用拡大、省エネルギーの推進、森林の保護再生を推進するとともに、私たちにできることとして、エネルギー効率の高い家電の使用やリサイクルの徹底などを進めるほか、国際的な取り組み（パリ協定）により、各国が協力して温室効果ガスの削減に取り組むことが重要と思います。

今年も暑い夏を迎えることになるかもしれません。同窓会員の皆様には、熱中症対策を徹底し、お元気に過ごされることをお願いします。

最後になりますが、同窓会の予算が大変厳しいことから、同窓会新聞の配布について聞き取り調査をお願いしております。ご協力の程よろしくお願いします。

伝統を引き継ぐ期待の生徒たち

学校長
橋本 昌幸

同窓会の皆様には、日頃から本校の教育活動の推進に、物心両面から温かいご支援いただいておりますこと厚くお礼申し上げます。ご挨拶が遅くなってしまいましたが、本年度４月より第 31 代校長に着任させていただいた橋本昌幸と申します。どうぞよろしくお願いいたします。４月には、満開の桜と満面の笑みの生徒、そしてやる気に満ち溢れた教職員と新たな船出をできたことをとてもうれしく感じたことを最近のことのように思い出されます。

さて、この三重県立明野高等学校は、創立 140 年を超える歴史と伝統を持つ農業、衣・食、福祉の専門高等学校です。地元の企業さま等にも積極的な協力をいただきながら、明野高等学校ならではの、取り組みを充実させているところです。まさに伝統を引き継ぎながら、それぞれの分野で最新の学びを生かし、一層輝けるよう努力を重ねているところです。今年の夏休みも農業クラブのプロジェクト発表や家庭クラブそして、福祉科の介護技術コンクールなどにおいて、県下の生徒をリードしながら積極的な取り組みが見れたことをうれしく思っています。また、野球部は 25 年ぶりに夏の大会でベスト８入り、陸上部では東海大会そして、相撲部とボクシング部においては、全国大会へ出場することができました。今後の活躍にもご期待ください。

話は変わりますが、８月の終わりに“おばた祭り”に参加させていただいた際、神輿の移動中に地元の方々からも「私も明野高校出身なんです。」「明野高校、頑張ってください。」などたくさんのお声掛けをいただき、明野高等学校は、地元に愛され、地元になくてはならない学校なんだなと実感しました。校歌に「明野ヶ原に　溢るるや　～　ここに励みて　～　拓き伸さむ我等が力」とありますように、生徒一人ひとりが地に足を付け揚々と活躍しけるよう教職員一同全力で支援をしていきたいと考えています。

今後も明野高等学校の教育振興のため変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げ同窓会の皆様の益々のご健勝をお祈りし、ご挨拶とさせていただきます。

同窓の広場

令和６年７月 15 日に、福田喜三さんが制作された『桐壺のミカド日記』が、株式会社文芸社より出版されました。全国の書店のほか、文芸社のルート書店および紀伊國屋書店では、３年間にわたり陳列される予定です。

源氏物語

福田　喜三
（昭和50年度農芸化学科卒業）
名古屋市在住

今年は源氏物語の絵本を出すのに良い年となりました。1月よりNHK大河ドラマ「光る君へ」の紫式部がスタートしました。源氏物語は、専門の作家、大学の教授など長年古典文学を研究された方が、その物語を書かれて来たのではないかと思います。

私は今回次の様なアイデアで源氏物語の絵本に挑戦してみました。

10年位前、名古屋市の大須のお寺の庭で植木市、骨董市の所で大和絵を手にしたものでした。額に入れ並べ変え、源氏物語になるのではと思いながら考えていました。

２年前コロナが流行していて外出不可の為、源氏物語の制作に取りかかりました。大和絵は千年前、一条天皇が王朝文化を愛した時、誕生したようです。絵は10枚有り、宮中・行幸が半々、帝が主人公になっていると思われる為、桐壺のミカド日記、新源氏物語、自分で創作する絵本として、ドラマチックな10枚の場面の帝の喜怒愛楽な物語、雅な32頁で楽しみませんか。と思っての本です。

紫式部が、石山寺に一週間こもり、光源氏と言う貴公子の一生と、その子薫の君の半生を物語風に、宮中での男女の愛情生活を中心に草案を考えた。

時は、藤原兼家の摂関政治において、源高明（元・左大臣）を安和の変で罪をかぶせ、筑紫へ流し臣下におろし、長男・道隆、道兼、詮子、道長の一族が、一条天皇をささえる政治を行っていた。

紫式部は、宮中において臣下におろされた源高明と子明子（後道長の妻）を源氏物語のモデルと考えた。帝が身分の低い美しい桐壺の更衣を愛するあまりに、皇子が皇太子にでもなると大変と言うので、弘徽殿の女御が、あらゆる意地悪をなさったが、２歳になった光源氏の君と共に実家にもどり、病気でなくなってしまった。帝のお悲しみは、食事もなさらず、夜もおやすみになりません。母、更衣の喪があけ、４歳の春、皇居にお帰りになった。帝は光の君を生涯面倒をみてやろうと、母親と瓜ふたつの藤壺の姫宮をお迎えになった。帝は、光源氏の君を連れて藤壺の女御の所へ、しげしげおかよいになった。光源氏の君も亡き母親にそっくりの藤壺の女御が好きになっていった。

やがて元服をむかえ、左大臣の娘、葵の上と結婚が決まったが、藤壺に恋して、秘密の子を宿す。光源氏の波乱の人生が始まる。

NHK光る君へが1月スタートして10ケ月となった。（令和６年10月現在）まひろ（紫式部）と母が散歩中、道兼によって母が亡きものにされる所から、そのドラマと同時に私は、千年前の大和絵10枚と古銭で、新源氏物語、桐壺のミカド日記の絵本を、東京・株式会社文芸社で創り、発売しました。

帝のドラマチックで、喜怒哀楽に物語を自分で創作する絵本です。明野高校同窓会で集まった時ぜひ見て下さい。新聞再発行に向け全員の方がワンコインの賛助金のご協力を願えればと思います。

同窓会

昭和53年度卒業（2組園芸科）同窓会

令和6年1月28日　村松町「食遊人」

前回は成人式の時に開催、44年ぶりでした。次回開催時にはご連絡しますので、是非参加をお願いします。

昭和57年卒業（3組農芸化学科）プチ同窓会

令和6年8月13日
小俣町　「徳利庵」

「お前誰や!!」の一言で宴が始まり、青春時代の思い出話に花が咲いた２時間でした♪全員集合!!を目指して今後も続けていこうと思います。参加希望の方は堤まで。

生活教養科

調理コースの３年生は地域特産品ひじきを使ったピザ開発や伊勢茶スイーツを考案中。２年生は減塩メニュー提案、デザインコースはファッションショーに向けてオリジナル衣装を制作。家庭クラブは古着収集・寄付活動を実施し、地域と国際支援に貢献しています。

生徒が活躍しています！

地域連携の取り組み

生産科学科は現在5つの専攻にわかれて活動を行っています。

作物では、地元小学校と芋ほり体験などをしています。野菜は、地元メロン農家の方に栽培方法を教わりながらメロン栽培をしています。畜産では、地元精肉店さんと伊勢あかりのぽーくの販売をしています。果樹と草花は、明野幼稚園の児童と交流を行っています。果樹はミカン狩り、草花は花壇の定植を一緒に行っています！

生産科学科

食品科学科

食品科学科では、長年に渡り明野幼稚園の園児さんに食育を行う取り組みを行っています。今年度は３年生７名で『苦手な野菜を食べられるきっかけづくり』『アレルギーがある子も楽しめるお菓子づくり』をテーマにレシピ考案を行いました。

10 月末、生徒が試行錯誤して出来上がったアレルゲンフリーのクレープとかぼちゃを使用したスイートポテトを実際に明野幼稚園児の皆さんに食べていただきました。アレルギーがあり食べられる食材に制限のある園児さんや、野菜が苦手で全く食べられない園児さんを含め、全員が笑顔で食べてくれたことで、３年生は大きな達成感を得られました。

クラブ紹介

相撲部

顧問　佐藤　崇

日頃より明野高校相撲部の活動を応援していただきありがとうございます。

今年度は選手６名マネージャー６名で活動させていただきました。今年度はインターハイ出場、国スポ三重県代表など多くの場面で活躍してくれました。

その活躍の背景には現在大相撲の大関として活躍している大の里関の影響も大きくあります。史上最速の大関昇進や最速優勝など多くの偉業を成し遂げている大関は私の中学高校大学の後輩にあたります。そんな縁もあり大学在学中に本校にも稽古をつけに何度か足を運んでくれました。今現在も交友のある二所ノ関部屋へ名古屋場所前に出稽古に伺わせていただいた際は生徒へ胸を貸していただいています。

大関の成長を見てきた中で自分の信念を曲げず取り組むことができる人間でした。大関になった今もそこは変わらず現状に満足せず常に高みを目指す彼をみて先輩ながら勉強になります。毎年伊勢に訪れる機会があるので彼の思考や思いを聞き私自身も生徒の指導の参考にさせてもらっています。今後も大関の唯一無二の挑戦を見届けるとともに応援をよろしくお願い申し上げます。明野高校相撲部も唯一無二の相撲部を目指し頑張ります。

また、令和７年１月場所から安氣乃山として本校相撲部から１名デビューしました。今後も明野高校相撲部の活動に協力と応援をよろしくお願いします。

前列一番左　安氣乃山

明高短信

HRリレー

綱引き

学科対抗
大玉レース

6月6日・7日
体育祭

二人三脚
リレー

11月14日～16日
明高祭

SNSを運営しています！

フォローよろしく
お願いします！

明野高校【公式】
Instagram

福祉科ブログ

福祉科
Instagram

作物部門
Instagram

畜産部門
Instagram

畜産部門
Facebook

草花部門
Instagram

野菜部門
Instagram

果樹部門
Instagram

クラブ活動

相撲部
Instagram

ボクシング部
Instagram

野球部
Instagram

令和５年度　職業別就職者数

	研究・技術の職業	専門的職業	事務的職業	販売・営業の職業	福祉・介護の職業	サービスの職業	農林漁業の職業	製造・修理・塗装・製図等の職業	建設・土木・電気工事の職業	合計
生産科学科	0	1	2	2	0	1	5	15	1	27
食品科学科	0	1	1	2	0	7	0	16	0	27
生活教養科	1	1	0	2	0	6	0	8	0	18
福祉科	0	0	1	2	4	2	0	0	0	9
合計	1	3	4	8	4	16	5	39	1	81

（縁故就職・自営も含む）

令和５年度　進路状況

	性別	人数	進学			就職	その他
			大学	短大	専門学校		
生産科学科	男	21	4	0	2	15	0
	女	16	1	1	2	12	0
食品科学科	男	7	1	0	0	6	0
	女	31	0	4	6	21	0
生活教養科	男	2	0	0	1	1	0
	女	38	1	1	15	17	4
福祉科	男	1	0	0	1	0	0
	女	38	5	9	14	9	1
男子合計		31	5	0	4	22	0
女子合計		123	7	15	37	59	5
合計		154	12	15	41	81	5

令和6年度　賛助金ご協力の方々

令和５年 12 月 11 日～令和６年12 月 10 日まで

★田丸八回～山高一回
（昭和十三年～昭和二十五年卒業まで）

上村キミ子・西村　嘉代・東谷きみへ
吉田　ミヲ・林　博子・前田　宣男
広　啓司・山本エイ子・岡村　智子
冨田真智子・村田　昇

★明高第一回～第十回
（昭和二十六年～昭和三十五年卒業まで）

伊藤修（物故）・乾　とき子・中澤千鶴子
中東　一栄・中東加代子・山田　次枝
小牧　洋介・髙木　市郎・珠道　広子
山路　直・須賀　恒彦・阿部　ヒロ
石井　光郎・蠣崎　通世・田口　惠香
中山　勉・野村　夏己・藤川　宜孝
大西　綾子・中西　克己・古崎　和義
松島　晃・松田師江子・奥田　修一
掛橋　洋・北林　武・木村　吉孝
髙木　賢文・永井　千賀・稲葉ヤヘ子
奥田　謙・小西　彦市・小林　裕
下村ふく枝・須賀　雅司・辻村　好正
中居　重春・西村美和子・濱地多恵子
早川　のぶ・前川　欣也・山際安津子
池田　恵子・井村　幸枝・植村定之祐
岡村　文夫・奥野　洋子・塩谷　泰子
高士　洋子・中桐　悦子・野村　寿夫
福井しげ子・藤本　昭祝・村田　昭嘉
森田　秀

★明高第十一回～第二十回
（昭和三十六年～昭和四十五年卒業まで）

石井　春恵・大幡恵津子・正村　義則
福井　和子・松山　悦子・米川　洋子
井上千恵子・加藤　東・金高　秋夫
佐々木保幸・佐藤　孝子・中井　恵美
中居　禮子・水本　幸子・野村　和子
橋爪美弥子・黒川　要・下村　良雄
白水　正治・瀬田佐代子・中谷　康夫
浜口　弘美・日置　繁・中西直子（物故）
河上　真也・後藤　清美・中林　新一
古庄　敏子・前川　絹子・南　隆子
今井　和子・岩田　紀子・小川　久子
奥野　長衛・辻村　健・早川　繁一
福田　喜三・福田　公代・堀口　久生
山崎　繁高・河井　美明・北河　新松
須賀　かよ・田所　角雄・田端　孟雄
千代田　幸・西村　隆・東　徳
増田　洋子・森田美知代・山中　喜子
伊藤　秀代・乾　愛子・田川　幸夫
田中　和美・中村　賢一・村田たづ子
岩崎　道・加藤　敬子・中尾しげる
中西みず穂・野呂　章子・森　隆生
柳生千恵子・山口　政司・糸川　京子
黒坂　公三・宿　英・鈴木　廣己
高山　義孝・正木　悦美・水口　直子
派　和夫・藪谷由紀子・米田　久隆
岩尾とみ子・髙橋　伸雄・谷口　佐富
森　幸

★明高第二十一回～第三十回
（昭和四十六年～昭和五十五年卒業まで）

鈴木　良一・早川　鈴子・水野　晴美
飯島　桂子・大西　正義・大野　敏香
岡山　成樹・川上　千賀・木下　薫
黒越　睦子・小林　政弘・後藤　勝則
晋川ひとみ・堂岡眞喜子・松田　幸一
渡邉　稔・田中　裕治・奥野　幸宏
中西　保之・長野三千代・松田　佐文
柳谷　亘・山本　絹子・山口　隆
内田あけみ・奥野かおる・坂口　裕子
嶋田　典子・髙尾　由子・中村ひとみ
野中　穂積・南　進・森川　正弘
森田　和夫・山中　和江・伊藤　澄子
梶野みゆき・舌古　傳夫・長澤　弘晃
神田　和子・出口　隆弘・長谷川良和

★明高第三十一回～第四十回
（昭和五十六年～平成二年卒業まで）

山中　弘行・隅野三弥子・西村　真一
南平　武司・南平　裕子・大西かおる
中西あゆみ・西　真弓・横井　京子
吉田　好美・草深　里佳・辻　正彦
北出　昌弘・北村　和宏・駒田　栄治

★明高第四十一回～第七十一回
（平成三年～令和五年卒業まで）

小久保正之・森　美夏・上田　晃子
中村　匡志・山下　展生・伊藤　音夢
北村　友美・北村　元哉・松本　愛美

★旧職員

石田　彰・磯田　政男・伊藤　雅人
扇田　忠一・岡田　廣助・川端　恵
北村　勝・小林　禧郎・阪村　章
新谷　清和・関岡　豊・田中　玲子
逵　晴世・中北　隆也・西村　正己
西山　昌子・濱口　政巳・広瀬　千足
前川　隆
（敬称略）

ご協賛ありがとうございました。

賛助金納入のお願い

同窓会活動費は、卒業される生徒の入会費と、皆さまからの賛助金でまかなわれています。しかし、年々生徒数が減少し、予算立てが困難となってきています。一口千円から納入していただけますのでご協力のほど宜しくお願い致します。

お近くの『郵便局』、又は『ゆうちょ銀行 ATM』からお手続きできます。通信欄に卒業年度、学科をご記入ください。
振替口座：00840-7-120978　口座名義：明野同窓会新聞発行賛助金

昨年（令和6年度）の総会&パーティー報告

令和６年６月８日（土）

●総会

●パーティー／伊勢シティホテル

総会、懇親会には 35 名近い方々が参加され、旧交をあたためました。

旧友よ同窓会にいこう！

令和７年 総会のご案内

とき　令和７年６月７日（土）

◯総会　午後２時半～４時　学校会議室

◯パーティー　午後５時～７時半

食遊人　伊勢市村松町 1379-1　☎ 0596-38-0022

会費　6,000 円

締め切り日　令和７年４月 25 日（金）

出席をご希望の方は必ず締め切り日までにＦＡＸ（0596-37-4127）でお申し込み下さい。

編集後記

晩秋の日、ケヤキの落ち葉の中に赤い葉っぱ…これは？まわりを見渡すと所々に違う葉っぱがありました。サンゴジュ・柿の葉・もみじ・どんぐり・くすのきの葉・ツバキ…その中にはほんの数枚銀杏の葉も顔を覗かせていました。イチョウは家庭科棟の向こうにそびえる木なのに風で仲間入りしたのですね、少し驚きました…これは同窓会主催の落ち葉掃き作業の一コマです。

在学中「サンゴジュ」という素敵な名前を農業科の先生から教わり、その木の垣根を見上げて、これがサンゴジュ…と覚えることができました。この木は常緑樹ですが、秋には赤色や黄色、オレンジがマーブル状に混じり可愛く地面に落ちていることもありました。実習中に子供達が喜んで拾い、手に握るビニール袋からあふれ出すほどいっぱいになったことを思い出しました。こんなに素晴らしい自然がいっぱいの高校です。まだまだたくさんの樹木が校内にはありますので皆様も是非一度訪れてみて下さい。

さて、昨年３月には皆様方にたくさんの賛助金を送っていただきました。本当にありがとうございました。

お陰様で同窓会の活動資金も潤いました。これからの新聞発送に関しまして資金難はもとより課題も多く、皆様のご意見を頂きながらより良い方向へ進めていく所存です。どうかこれからも、明野高校同窓会が末永く継続していけますように、皆様の心温かいご協力をお願い致します。

また新年度が始まります。どうぞお元気でお過ごし下さい。（芝谷）

新聞発行委員会　芝谷／長澤／神田／堤／西／新村／橋本／加藤／山田

第10回 同窓の杜落ち葉掃き

寒空の中、15 名ほどの同窓会員が集まり、２時間ほどで綺麗にして頂きました。次回開催時には皆さまのご参加お待ちしています。

次回は令和７年 12 月 13 日（土）９時から行います。